



2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

競技会場周辺のデータ整備

令和3年4月

政策統括官付

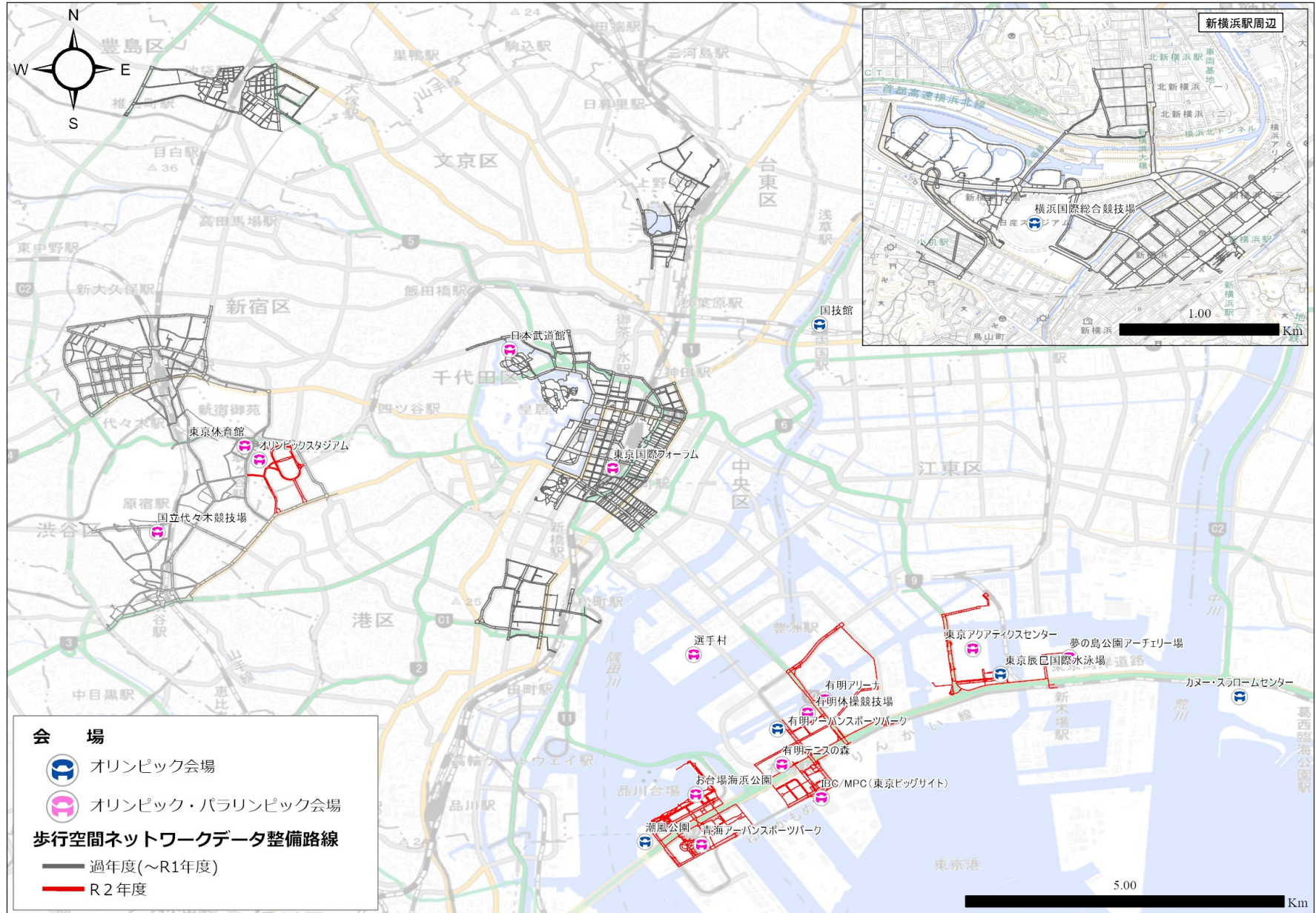
○ 競技会場周辺におけるネットワークデータ整備

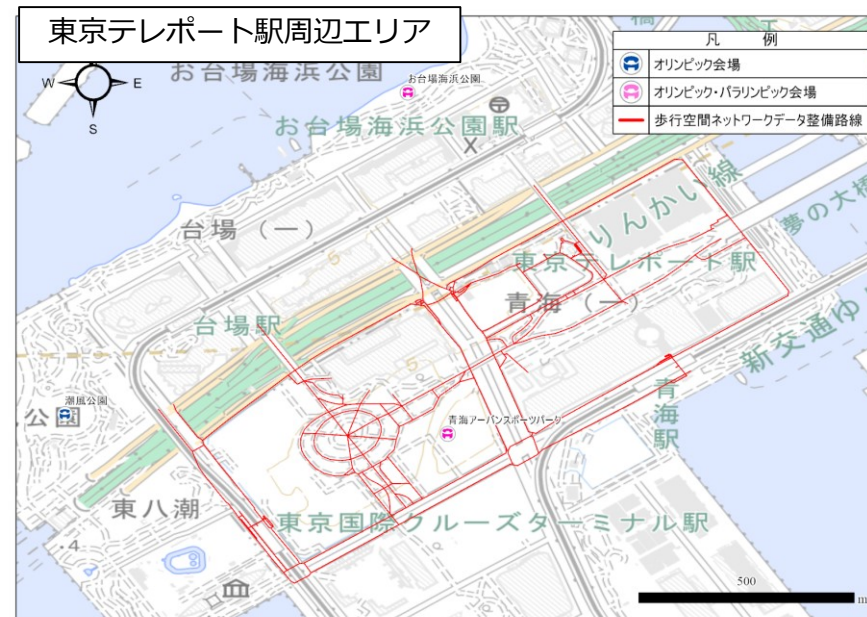
- ✓ 2020年東京オリパラ競技大会に向け、競技会場周辺の最寄り駅と主要なルートを含む歩行空間ネットワークデータを整備し、オープンデータとして公開。(H28より整備開始)
- ✓ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた競技会場周辺のデータ整備が完了。
- ✓ 様々なサービスが創出されることを目的として、国において先行的なデータ整備・オープン化を行うとともに、第4回東京公共交通オープンデータチャレンジでのデータ公開を公共交通オープンデータ協議会や東京都と連携して実施。
- ✓ 選手をはじめ、観客、ボランティア等多数の参加者・来場者が本サービスを広く利用されることを期待。

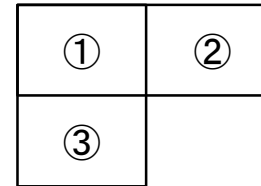
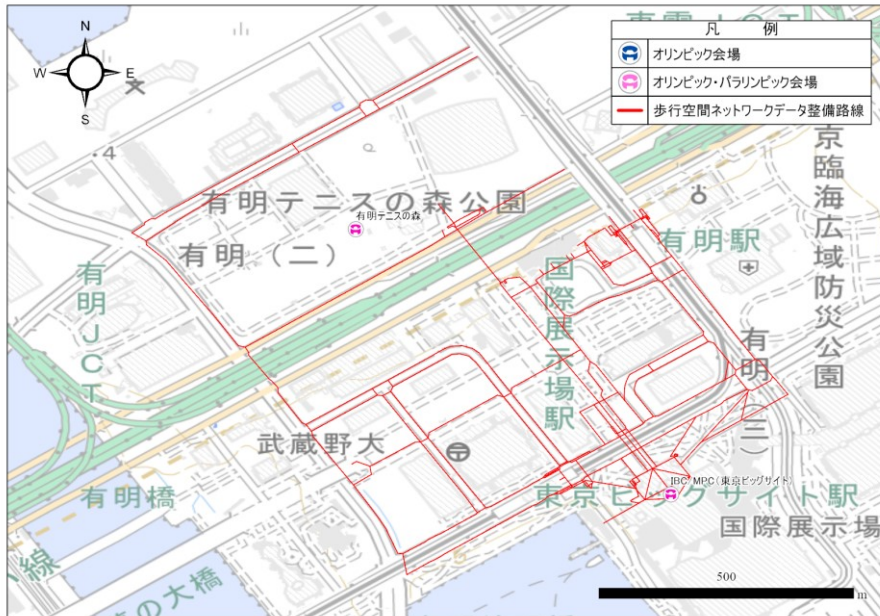
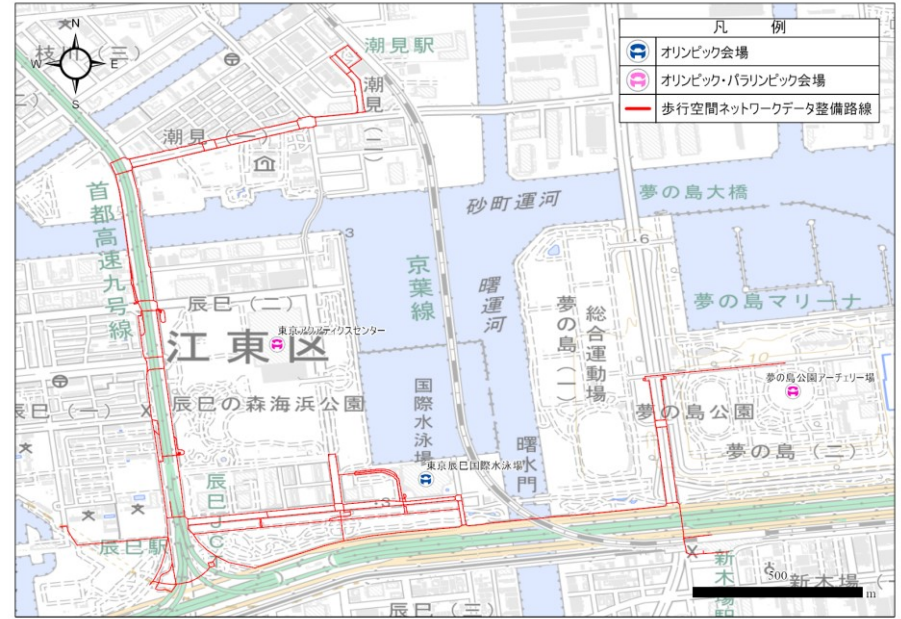
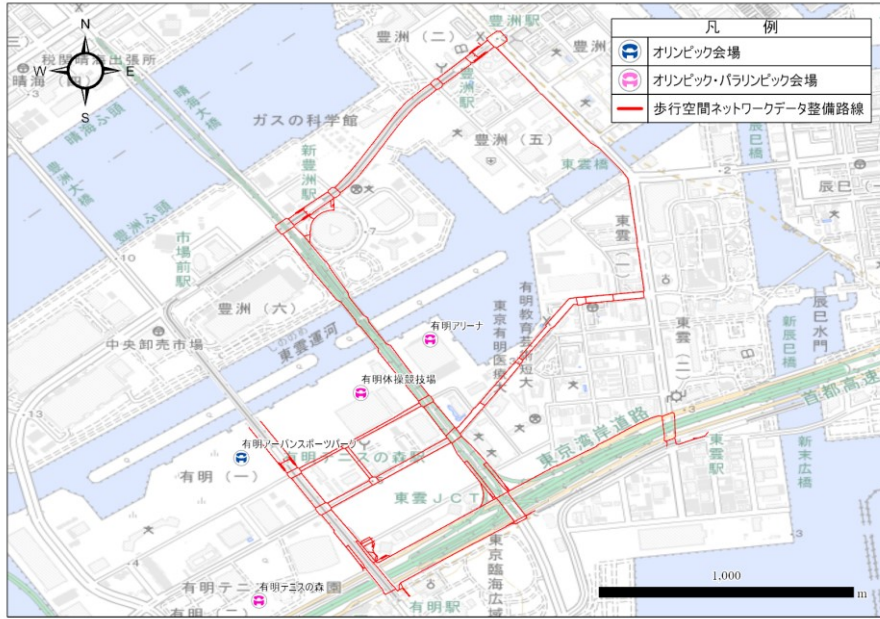
○ 2020年度の歩行空間ネットワークデータ整備箇所

競技場の建設工事が完了した新国立競技場およびベイエリアの計6エリアについて歩行空間ネットワークデータを約72.0Km整備。

整備エリア		整備内容	整備延長	データサイト公開
新国立競技場周辺	新宿区・港区・渋谷区	追加整備	7.4Km	2021年 4月公開済
台場駅周辺	港区	新規整備	16.8Km	2021年 4月公開済
東京テレポート駅周辺	港区・江東区	新規整備	12.6Km	2021年 4月公開済
有明テニスの森駅周辺	江東区	新規整備	16.7Km	2021年 4月公開済
国際展示場駅周辺	江東区	新規整備	12.5Km	2021年 4月公開済
新木場駅周辺	江東区	新規整備	12.0Km	2021年 4月公開済



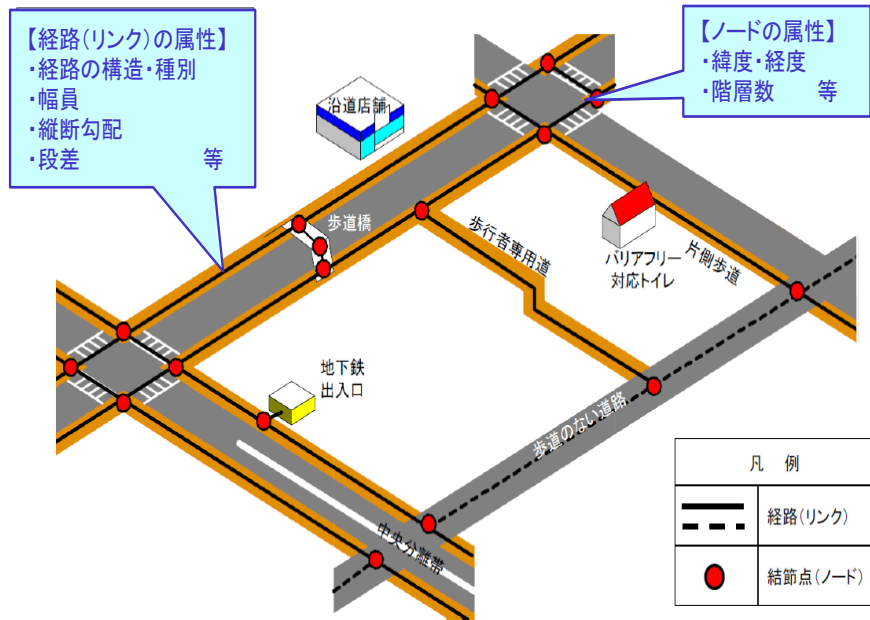




- ① 有明テニスの森駅周辺エリア
- ② 新木場駅周辺エリア
- ③ 国際展示場駅周辺エリア

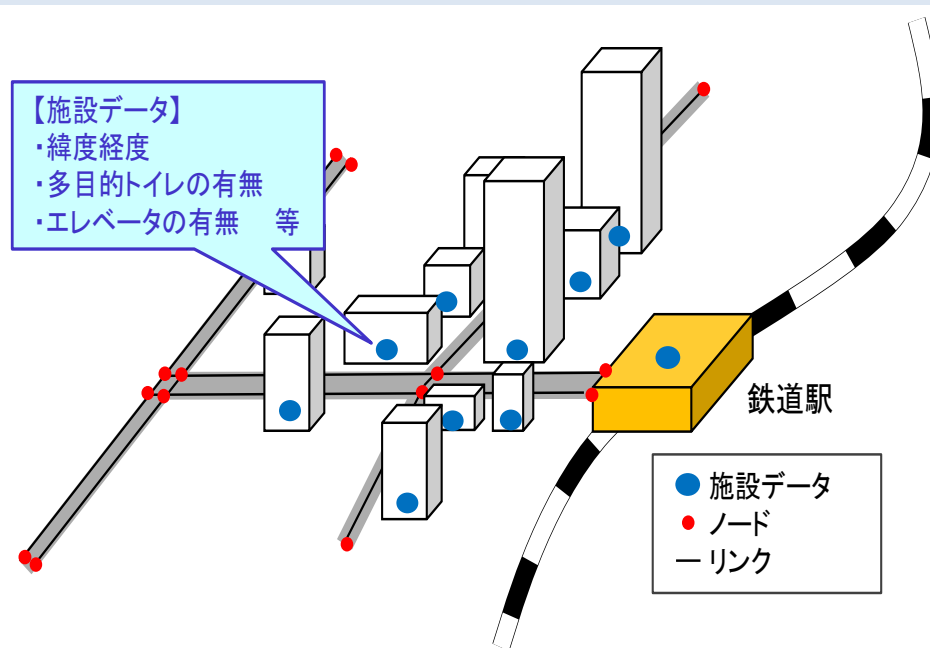
- 「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」は「歩行空間ネットワークデータ」及び「施設データ」に含まれる段差・幅員・縦断勾配等のバリア情報、施設における多目的トイレやエレベーター等のバリアフリー設備の情報をデータ化する際のフォーマット(仕様)を定めたもの
- バリアフリー対応のナビゲーションシステムのほか、バリアフリーマップの作成などにも活用可能

歩行空間ネットワークデータ



歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性としてリンク延長や経路の構造・種別のほか、段差や幅員などの情報を持たせてデータ化したもの

施設データ



施設の位置に合わせてポイントを配置し、属性として位置・名称・住所のほか、バリアフリー設備の種類・有無などの情報を持たせてデータ化したもの